

## 平成28年度 卒業式



平成28年度卒業式が3月10日挙行されました。畜産経営学科25名、畑作園芸経営学科21名、稲作経営専攻コース8名、農業経営研究科5名、合計59名が農業大学校を巣立っていきました。今後は、次世代を担う農業者として全道の各地域で活躍されることを期待します。

## 同窓会入会式



3月10日、卒業式と同日に北海道立農業大学校同窓会入会式が行われました。

当日は津島同窓会長からご挨拶を頂き、同窓生として今後も協力し合い北海道農業を盛り上げていくことを入会式で確認することができました。

# 1年を振り返って



畑作園芸経営学科1年  
中村 光多  
(帯広市出身)

この一年は私にとって今までにないほど充実した年になりました。放課後、友達と一緒にスポーツをしたり、試験前には夜遅くまで勉強したりと濃密な日々を送っています。講義や実習では、農業を専門的に学び、農業に対する考えを深めることができました。また、先進農家に1ヶ月間泊まり込んで実習する体験学習や、福島県で開催された東日本大会での意見発表など、沢山のひとと出会い、話を聴くことができ、視野を広げることができました。来年度のプロジェクト活動では、テーブルビートと有機にんじんに取り組むので、実りある成果が得られるように全力で頑張りたいと思います。



畜産経営学科1年  
本間 巧斗  
(青森県上北郡出身)

入学した時は、みな環境や日々の生活に慣れることに精一杯でした。しかし、現在では朝夕の畜舎当番をはじめ日中の実習にも慣れました。私は農場長という役職をさせていただき、農場全体の運営を考えています。しかし私たちの学年は非農家の学生が約1/3おり、実習では自分の考えがうまく伝わらず頭を抱えることが多かったです。最近では、それぞれの学生が一生懸命農場運営を行い、実践的なスキルが身に付き少しずつ農場が安定してきました。10月には後輩に農場を引き継ぎます。それまではしっかりと農場運営を行って、畜産43期全体で酪農・肉牛のことをもっと深く学んでいきたいと思っています。



農業経営研究科1年  
山口 義之  
(帯広市出身)

研究科は、自身で決めたテーマを基に約半年間、様々な場所に行き、視察・実習を行うことができます。自家がたまねぎの新規導入を検討しているため、今年度私はこれをテーマに実習を行いました。約3ヶ月の長期間に渡る実習と地元の農協、道内の農家視察を行い、たまねぎのことだけではなく、自家で栽培している作物についても学ぶことができました。また、自家の経営についても知ることができ、就農後に経営をより良くできるようにしていきたいと考えています。来期は、自家の栽培作物の増収と品質向上をメインに取組、技術の習得や資格取得等、残りの1年間を悔いの残らないように過ごしていきたいです。



稲作経営専攻コース1年  
岡村 龍眞  
(雨竜町出身)

稲作コースでは、農業簿記や栽培の基礎を中心に学んできました。農高時代と違い初めて習うことや難しいこともありましたが、クラスメイトと一緒に勉強したり、先生にわからないところを聞いたことで、何とか乗り切ることができました。拓大ではレポート作成に大変苦労したことと、テスト勉強が大変でした。農大での集中講義では夏に2週間、冬にも2週間の期間があり、農業機械研修も含めると2週間ずつになりますが、とても充実した内容になっています。夏と冬にやる農業簿記は就農したときに絶対に必要なことであり、今までわからなかった我が家の経営状況、どれくらい儲かっているかもわかるので、今後の農業経営に役立てたいと思います。これからの実践的な講義や、卒業論文などは大変なことが多いですが、良いモチベーションを持って、スキルアップを望みたいと思っています。

発行者 北海道立農業大学校 〒089-3675 中川郡本別町西仙美里25-1 平成29年3月31日発行

TEL 0156-24-2121 e-mail nodai.kyomu1@pref.hokkaido.lg.jp

URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ngd/>  <https://www.facebook.com/nougyoudaigakkou/>